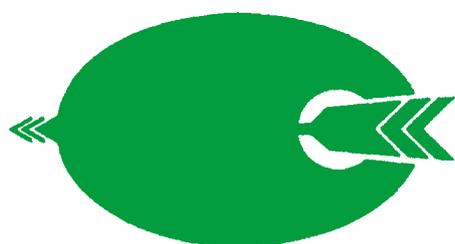


創立50周年記念

50年の歩み



2025

山口県生コンクリート工業組合

綱 領

全国生コンクリート工業組合連合会
全国生コンクリート協同組合連合会

- 一、我々は、国土開発の基礎資材産業人たる誇りをもち、豊かな社会の創造と社会的使命の達成に努めよう。
- 一、我々は、ユーザーの要請に応えるために、組合と組合員が一致団結して、品質管理の徹底と技術革新に向けてたゆまぬ努力を傾注しよう。
- 一、我々は、業界特性に鑑み、個別経営型から組合経営型による産業の合理化と安定化を図るために、相互扶助の精神に基づく組合理念を確立しよう。
- 一、我々は、組合による品質保証と経済合理性に基づく共同事業により、ユーザーの利益を保証する責任体制を確立しよう。
- 一、我々は、組合と組合員の事業を通じて、地域産業の発展に努め、従業員と地域社会の福祉に貢献しよう。

行 動 指 針

- 一、我々は、全生連合会の定める綱領の理念と精神を基調とする組合活動に専念しよう。
- 一、生コン業界安定化と諸問題を克服するために、個別経営型から協組依存型へと経営者の意識改革を図ろう。
- 一、我々は、秩序ある共同事業を展開し、過当な競争によってユーザーの利益を損なうことのないよう努力しよう。
- 一、品質管理監査制度と品質保証制度の確立のために、全組合員の英知を結集しよう。
- 一、組合理念の原点に立った共販事業を推進し、新時代に対応した原材料の流通システムを構築しよう。
- 一、我々は、共同事業を積極的に推進し、創意工夫と不断の努力によりコスト削減を図ろう。
- 一、的確な情報により、国際化による経営環境と経済情勢の変化に対応する経営体質をつくろう。
- 一、新製品・新技術の開発による新規需要開拓事業に積極的に取り組み、経営基盤の確立によって、広く社会に貢献するよう努めよう。
- 一、生コン業界の正常化の阻害要因である生コン工場の新增設は、その理由の如何を問わず自粛しよう。
- 一、二十一世紀にふさわしい経営戦略の実現にとって必要な人材養成と従業員の福祉の向上に努めよう。

平成14年6月3日

全国生コンクリート工業組合連合会
全国生コンクリート協同組合連合会

山口県生コンクリート工業組合 50周年記念誌 50年の歩み

目次

創立50周年を迎えて	1
山口県生コンクリート工業組合 山口県生コンクリート協同組合連合会	理事長 松尾 和 弘
祝辞	2
山口県知事 村岡 嗣 政 全国生コンクリート工業組合連合会	会長 斎藤 昇 一
組合紹介	4
組合概要 技術センター 役員 歴代理事長	
50年の歩み	6
組合の生い立ち 創立後の主要事項 品質管理監査制度 特別寄稿「生コン産業を支える山口県の生コン技術」 山口県生コンクリート工業組合 技術委員長 中沢 聡 年表	
資料編	26
組合員一覧 工場一覧(工場配置図) 生コン出荷量、工場数、組合員数の推移	

創立50周年を迎えて

山口県生コンクリート工業組合
理事長 松尾 和弘



山口県生コンクリート工業組合は、本年で創立50周年を迎えることとなりました。

これまで半世紀にわたり、ご支援とご指導をいただいた行政当局、並びに関連業界の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、当工組の発展にご尽力いただいた先人の皆様にご深甚なる敬意を表します。

さて、昭和43年には、業界の結束を図るべく、任意団体である「山口県生コンクリート協会」が発足し、その後、中小企業団体の組織に関する法律による工業組合化を推進し、昭和50年には、県内33社（46工場）により、当工業組合は設立認可されました。

昭和52年には、構造改善事業に取り組むこととなり、共同設備等設置のための準備金の積立を始め、昭和60年3月に「山口県生コンクリートセンター」が竣工しました。

さらに、昭和55年には品質管理監査制度を導入し、平成7年の「全国生コンクリート品質管理監査会議（全国会議）」の発足により、平成9年には本県においても全国会議に準拠して、「産・官・学」体制からなる「山口県生コンクリート品質管理監査会議」をスタートしました。議長には山口大学濱田純夫教授にご就任いただき、同年度からは工場への立入監査を実施し、今年度で29年目となります。

昭和61年に全国生コンクリート工業組合連合会の認定を受けた共同試験場（技術センター）は、平成19年、20年さらにISO/IEC17025認定を受け、現在まで組合員の試験業務の合理化と技術面からのサポートを行っています。

当工業組合の設立年度の組合員出荷量は213万 m^3 、これまでの最高は昭和55年度の272万 m^3 で、以降、逡減傾向にあり、現在は70万 m^3 程度で推移しています。工場数は59工場をピークに、県内協組主導の集約化により現在39工場（43社）となっています。

こうした中、良質な生コンクリートの安定的な供給のため、品質管理監査制度のもと、品質管理の徹底に万全を期してユーザー各位の信頼に応えるとともに、適切な価格転嫁等により経営の安定に努めてまいりました。

現在、業界では需要の減少に加え、原材料等の高騰、人材の確保・育成、カーボンニュートラル対応など課題は山積しています。これから先、人材の面では高齢化に対応して雇用の延長や若者・女性の採用を進めるため、より働きやすい職場環境づくりと、省力化や最適化に向けたデジタル技術の活用等DXに向けてしっかりと対応することも重要であると認識しています。

これらの課題の解決に向けて、組合員一丸となって前進するとともに、これからも安全・安心な地域づくりのため、良質な生コンクリートの安定供給に全力を挙げて努めてまいります。

今後とも、関係各位には、なお一層のご指導、ご支援をお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

創立50周年に寄せて



山口県知事 村岡 嗣政

山口県生コンクリート工業組合が創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴組合が、昭和50年7月の設立以来、生コンクリート製造業に関する指導や調査研究等、活発な事業活動を展開され、業界の発展と社会的地位向上に努められ、本年めでたく節目の50年を迎えられましたことは、誠に御同慶に堪えません。これもひとえに、これまでの役員の方々をはじめ組合員の皆様方の御努力の賜物であり、ここに深く敬意を表する次第です。

また、平成9年度からは、産学公による「山口県生コンクリート品質管理監査会議」を発足させ、品質管理の徹底を図られているとともに、平成18年度以降、毎年、建設業団体や県との共催による「コンクリート構造物の品質確保に関する技術講習会」において、製造者としての知見や取組を御教示いただいているところです。

さらに、人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足等、近年、建設産業を取り巻く環境は大きく変化しており、こうした課題に対応するため、AI等による材料の品質確保などデジタル技術の活用に取り組みまれておられるなど、本県におけるコンクリート構造物の品質確保や耐久性向上に多大なる御貢献をいただいております。心から感謝申し上げます。

さて、私は、県政運営の指針である「やまぐち未来維新プラン」において、「強みを伸ばす産業基盤の整備」や「広域的な交通インフラの整備」、「大規模な自然災害対策の強化」等を重点施策に位置づけ、港湾や幹線道路網等の整備をはじめ、河川改修や橋梁の耐震化などに取り組んでいるところです。

生コンクリートは、こうした社会インフラの整備に必要な建設資材であり、良質な製品を安定的に供給していただくことにより、本県経済の活性化や安心・安全の確保が可能となることから、貴組合が果たす役割は、益々重要なものとなっています。

貴組合及び組合員の皆様方におかれましては、生コンクリートの安定供給及び更なる品質向上への取組を通じて、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に向け、引き続き、御理解と御協力を賜りますとともに、本県のより一層の発展にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、山口県生コンクリート工業組合の益々の御発展と組合員の皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

創立50周年に寄せて

全国生コンクリート工業組合連合会
会長 齋藤 昇一



山口県生コンクリート工業組合が創立50周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

山口県では、昭和40年代半ばには山陽新幹線や中国自動車道などの特需に恵まれましたが、工事の終了と時を同じくして第1次オイルショックによる需要減少に見舞われ、業界の安定と発展を図るため、昭和50年に貴組合が設立されました。

以来50年の永きにわたり、事業を継続してこられたことは、歴代の役職員をはじめ、組合員の皆様が一致団結して運営に当たられた賜物であり、深く敬意を表します。

貴組合はその後目まぐるしく変化する経済状況や社会情勢下にあって、構造改善事業や全国統一品質管理監査制度の推進など、県内の生コン業界の指導的役割を遺憾なく発揮し、その発展に大いに貢献してこられました。

また2000年代に入り、全生連合会の需要開拓策としてコンクリート舗装の普及推進が決定された際、山口県は重点地区に指定され、貴組合にはコンクリート舗装の需要拡大に向け、精力的に取り組んでいただいてまいりました。

貴組合のPRもあって、山口県が石灰石の地産地消の観点からコンクリート舗装を推奨して下さっているのも大変有難いことで、県主催の講習会の開催や活用マニュアルの発行により、県職員をはじめ発注者、設計者、施工者などにコンクリート舗装の高耐久性や長寿命である点などのメリットを広く啓発していただいています。これは、貴組合が県との深い協力体制を築かれた成果でもあると考えます。

また、このような活動により全体の生コンクリート出荷量が減少し続ける中で、貴組合のコンクリート舗装やワンデイパイプの出荷実績が比較的堅調に推移しているのは、その取り組みの有効性を示しているものと思います。

全生連合会におきましても、近年の原材料やエネルギー価格の高騰を受け、コストアップを生コン価格に転嫁できる環境整備に注力していますが、その他、需要減少や人手不足、カーボン・ニュートラルなど山積する様々な課題への対応についても、貴組合をはじめ、全国の会員組合との団結と協調のもと、引き続き業界発展のために取り組んでまいり所存です。

貴組合の創立50周年の節目にあたり、所感の一端を申し上げ、結びに貴組合の今後益々のご発展と組合員のご繁栄、関係役職員の皆様のご健勝を祈念しまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。

組合概要

名称	山口県生コンクリート工業組合		
代表者	理事長（代表理事）松尾和弘		
所在地	山口県山口市小郡高砂町3番6号	設立	昭和50年7月29日
出資金	3,300,000円（66口）		
組合事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 生コンクリート製造業に関する指導及び教育 ● 生コンクリート製造業に関する情報又は資料の収集及び提供 ● 生コンクリート製造業に関する調査研究 ● 組合員の取り扱う生コンクリート及び原材料の共同検査及び共同試験、他 		
組合員数	43社39工場		
組合員資格	山口県内において生コンクリート製品の生産を営む中小企業団体の組織に関する法律（昭和32年法律第185号）第5条に規定する中小企業者		
役員数	理事20名、監事2名	職員数	4名
委員会	運営委員会、総務委員会、技術委員会		

技術センター

技術センターは、昭和61年に全国生コンクリート工業組合連合会の共同試験場認定を受けました。また、平成19年には、JIS Q 17025「試験所及び校正機関の能力に関する一般的要求事項」に適合する試験場に認定されました。

当技術センターで行う様々な試験業務において、最も重要なのは中立性、透明性、公正性を保つことです。当技術センターは生コンクリート工場の試験業務を受託するに止まらず、生コンユーザーに対する技術上の問題の解決を図る技術サービスを行い、日々、生コンの品質確保に努めています。

施設概要・主要設備

施設概要・主要設備	
圧縮試験機(200kN・2000kN)	電位差滴定装置 恒温室 養生水槽
試験項目	
硬化コンクリート試験	
JIS A 1106	曲げ強度※1, ※2
JIS A 1108	圧縮強度※1, ※2
骨材試験	
JIS A 1105	有機不純物※1
JIS A 1121	すりへり減量※1
JIS A 1122	安定性※1
JIS A 5308附JA	骨材の塩化物量試験※1
水質試験	
JIS A 5308附JC	懸濁物質量試験※1
JIS A 5308附JC	溶解性蒸発残留物量試験※1
JIS A 5308附JC	セメントの凝結時間差試験※1
JIS A 5308附JC	モルタルの圧縮強さ比試験※1
JIS A 5308附JC	塩化物イオン量試験（分析方法はJIS A 1144）※1
設備管理試験	
ZKT-301	塩分含有量測定器の検査※1
※1：全国生コンクリート工業組合連合会認定項目	
※2：JIS Q 17025認定(登録)試験項目	



役員

役員名	会社名	役職名	氏名
理事長	萩森興産(株)	代表取締役	松尾 和弘
副理事長	山口小野田レミコン(株)	代表取締役	鶴森 栄一
//	西部徳山生コンクリート(株)	代表取締役	山手 孝昭
専務理事	県工業組合・県協同組合連合会	員外	浅賀 浩二
理事	萩宇部生コンクリート(株)	代表取締役	井町 嘉助
//	サンヨー宇部(株)	代表取締役	大西 利勝
//	(株)竜陽	取締役技術部長	小川 清澄
//	関門生コン(株)	代表取締役	河野 朋子
//	柳井宇部コンクリート工業(株)	取締役	國村 眞二
//	長門コンクリート工業(株)	代表取締役	黒瀬 正
//	山口小野田レミコン(株)	専務取締役	小山 健司
//	(株)周防大島生コン	専務取締役	迫田 一弥
//	シマダ(株)	代表取締役	嶋田 広樹
//	萩森興産(株)	執行役員営業本部副本部長	下石真一郎
//	(株)ファノス	常務取締役	瀧下 信彦
//	下松アサノコンクリート(株)	代表取締役	中沢 聡
//	長門小野田レミコン(株)	代表取締役	中原 文典
//	(有)錦生コン	代表取締役	西山 隆宏
//	三計資材(株)	代表取締役	三計 正之
//	(株)宮本建材	代表取締役	宮本 俊亮
理事計			20名
監事	中部生コンクリート協同組合	専務理事	金子 政司
//	周南生コンクリート協同組合	事務局長	高木 大空
監事計			2名
計			22名

歴代理事長

	氏名	任期
初代	長澤 昭明	昭50.7 ~ 平11.5 (24年間)
2代	蔦尾 和彦	平11.5 ~ 平16.5 (5年間)
3代	諸 富 祐作	平16.5 ~ 平19.5 (3年間)
4代	山 浦 章夫	平19.5 ~ 平24.5 (5年間)
5代	木 村 寛喜	平24.5 ~ 平28.5 (4年間)
6代	野 村 信幸	平28.5 ~ 令 4.5 (6年間)
7代	松 永 篤	令 4.5 ~ 令 5.5 (1年間)
8代	松 尾 和弘	令 5.5 ~

工業組合50年の歩み



昭和

1975



平成



令和

2025

工業組合の生い立ち

我が国におけるコンクリート工業は、昭和24年に東京において誕生。本県においては、昭和38年3月に萩森興産(株)が宇部市に創業し、同年8月には、山口小野田レミコン(株)が小野田市に、また、同年11月には、西部徳山コンクリート(株)が徳山市に操業開始。その後、高度経済成長に恵まれ生コンクリート需要の急速な拡大に伴い、各地に工場が建設され、業界は大きく発展してきた。昭和43年1月には、県内生コンクリート業の17社、21工場が「山口県生コンクリート協会」を設立し、業界の結束を図るとともに、昭和45年以降、山陽新幹線、中国自動車道など大型工事が次々と着工される中、品質管理に協会をあげて精力的に取り組んできた。

昭和50年になって協会は、中小企業団体の組織に関する法律による工業組合化を推進することになり、県内33社、46工場が加入して、同年6月2日に創立総会、7月29日に設立された。初代理事長に長澤昭明氏(山口小野田レミコン(株))が就任した。〔工業組合30周年記念誌〕より)

主要事項

昭和

50	7	29	山口県生コンクリート工業組合(長澤昭明理事長就任)
50	11	30	工業組合事務所移転(下関協組から小郡町)
54	8	10	工業組合事務所移転(小郡山本ビル)
57	11	24	長澤昭明理事長県選奨(産業功労)受賞
60	4	29	長澤昭明理事長黄綬褒章受賞
60	5	10	工業組合創立10周年・生コンセンター竣工
61	6	6	共同試験場認定(全生連)
62	10	27	第1回山口県生コン大会

平成

2	10	18	全国中小企業団体中央会全国大会において優良組合表彰受賞
3	10		原材料価格の変動により生コン価格の見直し
3	4	1	セメント受け入れ試験開始
3	12	25	生コン品質シンボルマーク商標登録(登録番号2360568)
7	9	22	工業組合創立20周年記念
7	12	1	知事表彰(優良組合)受賞
8	3	25	共同試験場・冷暖房設備完工
8	6	14	全生連会長表彰(優良組合)受賞
9	4	29	長澤昭明理事長叙勲(勲五等双光旭日章)受章
9	7	7	山口県生コンクリート品質管理監査会議発足
11	5	27	薦尾和彦理事長就任
11	7	9	品質管理システム(Windows版)開発・導入
12	11	17	黒瀬治郎理事(北西部協組理事長)県選奨(産業功労)受賞
13	7	17	生コンシンボルマーク商標書換
14	2	1	ホームページ開設(安心マーク生コンネット)
14	2	15	山口県土木工事共通仕様書(平成14年度版)に「監査合格工場の生コン使用」について、全国に先駆けて書込み
15	7	1	事務局組織の再編整備
16	5	28	諸富祐作理事長就任
16	10	21	中小企業庁長官表彰(優良組合)受賞
17	2	15	協組別新標準価格表作成

17	4	1	新工組標準配合表適用
17	5	27	工業組合創立30周年記念式典
17	12	22	優良工場表彰制度創設(第18回監査会議)
18	4	26	第1回技術講習会(コンクリートのひび割れ抑制対策)
19	5	28	山浦章夫理事長就任
19	6	27	ISO/IEC17025認定登録(技術センター) コンクリートの圧縮強度試験
20	2	5	ISO/IEC17025認定登録(技術センター) コンクリートの曲げ強度試験
21	10	29	中小企業団体組織法施行50周年記念式典 優良組合(経済産業大臣表彰受賞)
22	2	25	山口国体・山口大会実行委員会 感謝状
24	5	23	木村寛喜理事長就任
25	10	21	山口県コンクリート舗装等PRフェア
28	5	27	野村信幸理事長就任
31	1	4	組合員工場SDSのHP掲載
令和			
1	4	1	事業継続計画(BCP)策定
2	3	23	コロナ禍により、国・県・建設業協会との懇談会(中止)、以降諸行事が中止または縮小、WEB・書面開催。
2	11	13	生コンゴルフ大会(宇部市)(生コン大会中止)
3	4	1	セメント受入試験中止(技術センター) 同補填規程制定
3	11	13	生コン交流会(宇部市)(生コン大会中止)
4	5	26	松永篤理事長就任
4	10	11	生コン大会(周南)3年ぶり開催
5	5	29	松尾和弘理事長就任
6	3	5	化学物質管理者専門的講習
6	10	6	やまぐち建設フェス2024協賛・出展
7	3	25	工組HPリニューアル
7	5	29	創立50周年記念式典
7	7	29	創立50周年

品質管理監査制度

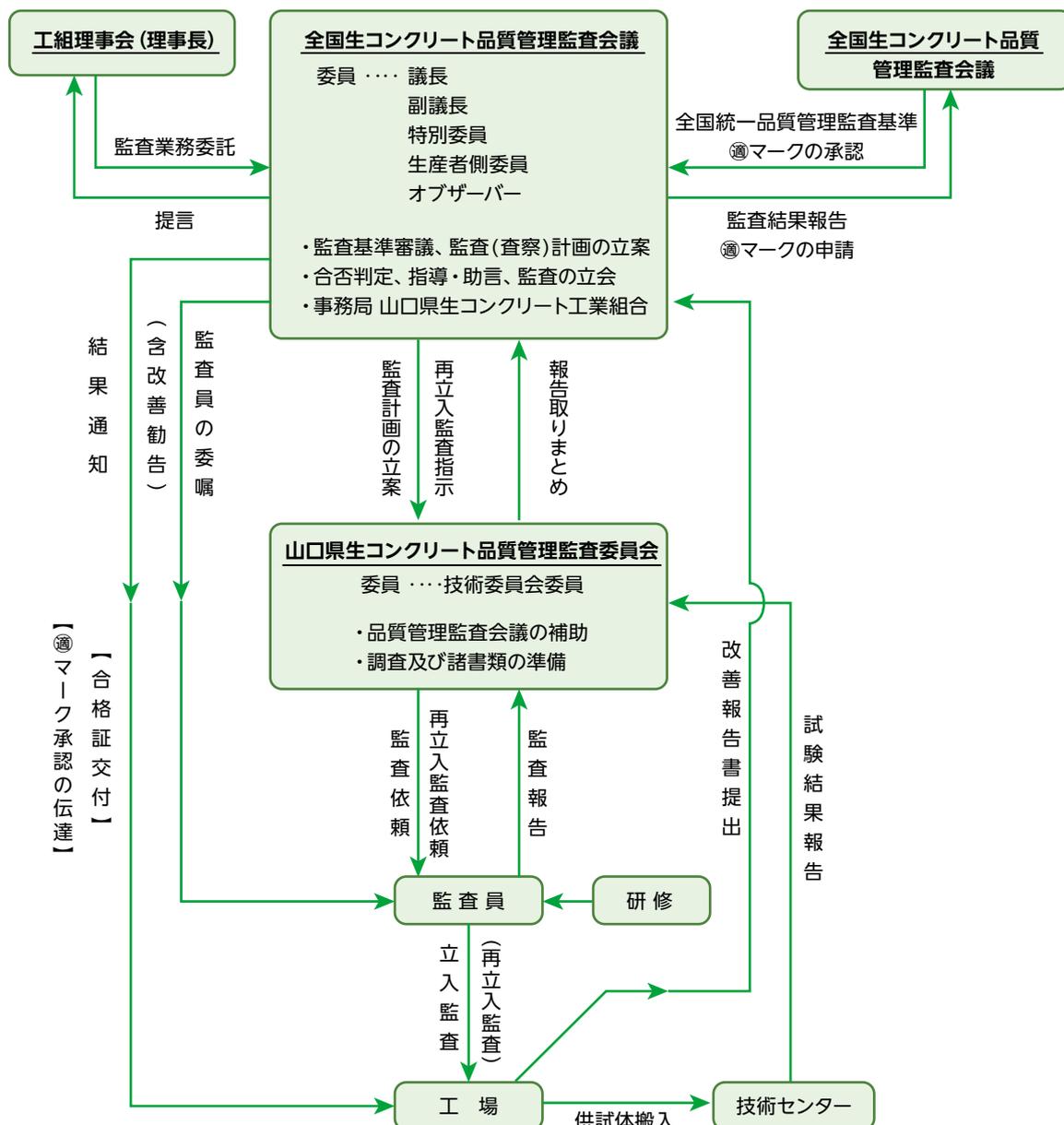
全国生コンクリート品質管理監査会議（以下、「全国会議」という）は、購入者からの信頼性を高めることを目的に、平成7年12月、レディーミクストコンクリートの品質管理の透明性及び公正性を確保し、品質保証体制の確立を図るため、通産省（現在、経済産業省）、建設省（現在、国土交通省）等の指導を得て、産・官・学の体制からなる第三者機関として発足した。翌平成8年には、各都道府県に産・官・学の体制からなる地区生コンクリート品質管理監査制度（以下、「地区会議」という）が設立され、業界全体として全国統一品質管理監査制度（以下、「品監」という）が作られ、山口県においても山口県生コンクリート品質管理監査会議が設立された。議長に山口大学濱田純夫教授に就任いただいた。

平成9年から全国共通の「全国統一品質管理監査基準」、「レディーミクストコンクリート全国統一品質管理監査チェックリスト」に基づき、地区会議によるレディーミクストコンクリート工場への立入り監査が開始されている。

平成14年2月には、こうした我々業界の努力が認められ、全国に先立って「山口県土木工事共通仕様書（平成14年度版）」に「監査合格工場の生コン使用」が記載されるに至った。

平成13年度からは、㊦マーク制度も導入され、平成15年度から国土交通省の共通仕様書においても、「㊦マーク工場の生コン使用」が記載されるに至り、当監査制度は、広く公的にも認知されることになった。

品質管理監査制度の組織と運営



年表

1975 (昭和50年)		
月	日	工業組合
5	16	山口県生コンクリート工業組合 創立総会開催公告 発起人長澤昭明外3名
6	2	山口県生コンクリート工業組合 創立総会開催第1回理事会 理事長長澤昭明就任 事務所下関市に置く
7	25	設立認可 中小企業第428号山口県商工労働部長
7	29	設立登記 下関法務局下商第367号
8	1	業務開始 全国生コンクリート工業組合連合会入会
10	1	組合だより第1号発刊
11	7	臨時総会
11	10	11月～12月JISA5308「レデーミクストコンクリート」改正に伴い、各地区で説明会開催
12	12	周南生コンクリート協同組合設立

1976 (昭和51年)		
5	13	第1回通常総会
12	15	流通構造について面接調査通産省来県15～17日岩国、徳山、下関、宇部

1977 (昭和52年)		
3	23	仙台、新潟、徳島工組視察
5	16	山口県北西部生コンクリート協同組合設立
5	19	第2回通常総会
8	20	中小企業近代化資金等助成法構造改善事業計画について説明 通産局、県、中央会（理事長外3名）
9	9	臨時総会
9	10	助成法による構造改善計画申請書提出（山口県）
10	7	助成法による構造改善計画認可（全国業界で初の承認）通商産業大臣
11	11	砕石協会と懇談会17名来組（理事長外2名）

1978 (昭和53年)		
5	17	第3回通常総会
6	1	改正JISA5308の実施に当り当工組としての対処説明会、建協外（理事長外3名）
7	8	改正JISA5308講習会にトレーナー全生に派遣
7	13	改正JISA5308講習会開催（山口市）
9	26	第1回構造改善事業特別委員会開催
10	11	中小企業近代化資金等助成法による構造改善事業計画調査表記入説明会開催 （各協組、各社）
11	16	全生連独占禁止法説明会
12	5	改正JISA5308講習会開催（大島、阿東、長門、下関、萩地区）

1979 (昭和54年)		
1	12	改正JISA5308講習会開催（防府、山口、豊田地区）
2	5	臨時総会
2	6	改正JISA5308講習会開催（宇部、下関、美祢地区）
3	12	広島通産局主催中国地区近促法構造改善事業説明会（広島市）
4	9	岐阜県工組品質管理監査制度研修

5	26	第4回通常総会
7	2	第1回品質管理監査委員会開催
7	12	近促法構造改善事業説明会開催
8	10	事務所移転小郡山本ビル
9	3	構造改善事業計画事務応援のため常勤（セメントメーカーより出向社員3名）
11	19	生コン構造改善事業計画についての懇談会開催 （建設局、県、セメントメーカー、顧問、監査員）
11	30	臨時総会
12	20	近促法構造改善計画について出張説明（大島、下関、周南、岩国、中部、北西部地区）

1980（昭和55年）

1	25	山口県中小企業近代化推進協議会（県庁）
1	31	構造改善計画申請書ヒヤリング通産省
2	16	臨時総会
2	22	大島生コンクリート協同組合設立
2	25	第1回拡大品質管理監査委員会
3	24	近促法構造改善事業計画承認される（昭55、生312号通商産業大臣）
4	4	臨時総会
4	25	近促法による構造改善事業55年度計画申請承認の件（山口県）
5	23	第5回通常総会
8	2	山口県へ助成法構造改善事業変更届提出、産業廃棄物、共同施設を除去（積立金変更）
10	23	構造改善事業による関連業界との懇談会（通産局、県、建協、工組）（山口市）
11	5	臨時総会
11	12	助成法構造改善事業変更計画承認
12	18	拡大品質管理監査委員会

1981（昭和56年）

2	9	山口県中小企業近代化推進協議会（県庁）
2	19	臨時総会
5	6	近促法による構造改善事業56年度計画承認（通商産業大臣）
5	20	第6回通常総会
6	17	宮崎工組へ品質管理監査制度視察（委員長外1名）
6	25	拡大品質管理監査委員会
7	3	構造改善事業による関連業界との懇談会
8	4	岐阜工組へコンピューター導入状況視察
10	3	大崎協組へ共同輸送システムについて視察
10	13	生コン品質技術研修会開催
12	11	拡大品質管理監査委員会

1982（昭和57年）

2	15	山口県中小企業近代化推進協議会（県庁）
2	24	臨時総会
5	24	第7回通常総会
6	25	山口県にJIS製品優先使用について陳情
11	1	全国生コン産業厚生年金基金加入
11	24	長澤理事長県選奨（産業功労賞）受賞
12	26	拡大品質管理監査委員会

1983 (昭和58年)		
1	20	臨時総会
2	7	山口県生コンクリートセンター用地取得 (小郡町)
2	23	臨時総会
3	9	構造改善事業による関連業界との懇談会 (通産局、県、建協、工組) (山口市)
3	14	山口県中小企業近代化推進協議会 (県庁) 第1回支部長会議
4	14	第2回支部長会議
5	20	近促法構造改善事業推進状況についての実態調査説明会 (協組、関係各社)
5	21	第3回支部長会議
5	26	第8回通常総会
6	30	第4回支部長会議
8	18	第5回支部長会議
12	6	拡大品質管理監査委員会

1984 (昭和59年)		
1	26	臨時総会
1	27	山口県中小企業近代化推進協議会 (県庁)
3	1	助成法に基づく共同廃棄
3	23	公害防止講習会開催
4	26	第6回支部長会議
5	18	第9回通常総会
5	30	山口県中小企業団体中央会 理事に長澤昭明就任
6	4	生コンクリートセンター設計業者入札 田龍設計事務所
6	28	全生連共販実態調査
7	5	構造改善事業による関連業界との懇談会 (通産局、県、建協、工組) (山口市)
8	2	共同試験場見学島根県工組、阿新協組
8	4	中国山東省視察団来県応接 (山口県、建協、工組) (山口市)
9	20	山口県生コンクリートセンター入札 防長建設工業(株)
9	27	山口県生コンクリートセンター起工式
12	5	拡大品質管理監査委員会

1985 (昭和60年)		
2	6	臨時総会
2	20	山口県中小企業近代化推進協議会 (県庁)
3	27	山口県生コンクリートセンター竣工
4	29	長澤理事長黄綬褒章を受章
5	10	生コンクリートセンター竣工式 創立10周年記念・あゆみ発刊
5	21	第10回通常総会
7	23	臨時総会
9	20	新規加入 西部コンクリート工業 (株)
10	22	臨時総会
11	26	新規加入 芝田建設 (株) 豊浦コンクリート
11	30	拡大品質管理監査委員会

1986 (昭和61年)		
2	17	山口県中小企業近代化推進協議会 (県庁)
2	21	臨時総会
3	10	共同試験所の認定申請
4	24	共同試験所に全生連立入検査
5	23	第11回通常総会
6	6	共同試験所認定 (全生連)
7	1	臨時総会
12	1	拡大品質管理監査委員会

1987 (昭和62年)		
1	26	大島アサノコンクリート (株) 脱退
2	2	臨時総会
4	30	新規加入 河野セメント工業 (株) 大島工場
5	29	第12回通常総会
7	24	臨時総会
8	20	生コン品質PR特別委員会設置
9	25	生コン品質シンボルマーク決定、国・県・市町村・関係団体ゼネコン等に生コン品質管理について要請、テレビ、新聞等によるPR、ポスター、パンフレット、チラシ等の配布
10	27	第1回山口県生コン大会 (長門市)
12	1	拡大品質管理監査委員会
12	7	生コン車全車に「シンボルマーク」貼付

1988 (昭和63年)		
1	28	シンボルマーク商標登録出願 (特許庁)
2	29	臨時総会
5	27	第13回通常総会
8	31	山口県中小企業近代化推進協議会 第2次構造改善計画の審議 (県庁)
9	20	臨時総会
10	21	臨時総会
11	11	第2回山口県生コン大会 (山口市)
11	30	RCCP舗装、県道 (田万川町地内) 見学会
12	2	拡大品質管理監査委員会
12	21	第2次構造改善計画を通算大臣承認

1989 (昭和64年/平成1年)		
2	23	臨時総会
3	10	山口県中小企業近代化推進協議会 (県庁)
5	31	第14回通常総会
11	9	第3回山口県生コン大会 (長門市)
11	21	RCCP舗装、興産道路見学会
12	8	拡大品質管理監査委員会

1990 (平成2年)		
1	31	生コン品質PRの野立看板設置 (県下20ヶ所)
2	26	セメント受入試験実施決定
2	26	臨時総会
3	13	山口県中小企業近代化推進協議会 (県庁)

5	28	第15回通常総会
9	21	臨時総会
9	21	RCCP推進委員会設置
10	1	下関地区生コン卸商協同組合設立
10	18	全国中小企業団体中央会の第42回全国大会で優良組合として表彰
10	25	RCCP舗装、東ソー構内見学会
11	9	第4回山口県生コン大会（山口市）
12	3	拡大品質管理監査委員会

1991（平成3年）

2	21	臨時総会
3	7	山口県中小企業近代化推進協議会（県庁）
3	28	経営者セミナー
4	1	全生連から品質管理監査制度推進モデル工組として指定
4	1	セメント受入試験開始
5	28	第16回通常総会
7	26	臨時総会
8	1	生コン品質シンボルマーク管理規定の制定
9	4	砕石工業組合と協議会
10	1	長澤理事長通商産業省中小企業近代化審議会の専門委員に就任
10	18	砂利企業団体（西部）と協議会
10	30	臨時総会
10		原材料価格の変動により生コン原価の見直し
11	5	砂利企業団体（東部）と協議会
11	8	第5回山口県生コン大会（長門市）
12	11	拡大品質管理監査委員会
12	25	生コン品質シンボルマーク商標登録（登録番号2360568）

1992（平成4年）

1	8	RCCP舗装、萩有料道路見学会
1	20	石灰石企業団体と協議会
2	26	臨時総会
2	27	山口県中小企業近代化推進協議会（県庁）
5	28	第17回通常総会
7	30	官公需確保対策地方促進協議会
8	11	官公需適格組合の和用推進陳情（国・県・中央会）
9	8	RCCP舗装、国道9号バイパス見学会
10	9	砕石工業組合と協議会
10	29	臨時総会
11	10	第6回山口県生コン大会（山口市）
12	3	拡大品質管理監査委員会

1993（平成5年）

1	29	臨時総会
2	5	RCCP舗装、下関市市道（吉母地内）見学会
2	8	山口県中小企業近代化推進協議会（県庁）
3	22	大島協組、官公需適格組合証明取得（県下6協組完了）
5	28	第18回通常総会
8	25	臨時総会

11	9	第7回山口県生コン大会（長門市）
11	19	拡大品質管理監査委員会

1994（平成6年）		
1	27	臨時総会
2	22	山口県中小企業近代化推進協議会（県庁）
3	2	工業標準化品質管理責任者ブロック会議（山口市）
4	22	官公需適格組合生コンの優先使用陳情（県）
4	27	第3次構造改善計画を通産大臣承認
5	27	第19回通常総会
11	8	第8回山口県生コン大会（徳山市）
12	1	拡大品質管理監査委員会

1995（平成7年）		
2	7	阪神・淡路大震災に義援金を贈る
2	14	臨時総会
2	23	山口県中小企業近代化推進協議会（県庁）
5	29	第20回通常総会
8	8	臨時総会
9	22	工業組合創立20周年記念

1996（平成8年）		
2	21	懇談会（国・県・建設業協会）
2	26	臨時総会
3	25	共同試験場設備・冷暖房設備工事
4	1	試験手数料改訂
5	30	第21回通常総会
6	14	全生連優良組合表彰受賞
8	30	萩開発(株)設立〔萩宇部・萩アサノの共同生産工場〕
9	20	認定共同試験場定期検査 合格
10	19	ザ・けんせつフェスティバル山口参加
11	9	拡大品質管理監査委員会
11	10	山口県東部生コン協組設立
11	21	第10回生コン大会
12	9	技術研修会

1997（平成9年）		
1	1	岩国共同(株)設立〔岩国小野田岩国・西部徳山岩国の共同生産工場〕
2	17	臨時総会
2	20	懇談会（国・県・建設業協会）
4	1	組合員の社名変更 東洋港運(株)→コーウン産業(株) 持分譲渡による加入 岩国小野田レミコン(株)南桑工場と広瀬生コン(株)が合併 → 玖北共同生コン(株)を設立
4	29	叙勲受賞（勲五等双光旭日章） 長澤昭明理事長
5	30	第22回通常総会
7	7	山口県生コンクリート品質管理監査会議発足（第1回監査会議） 議長 瀧田純夫山口大学教授（工学博士） 副議長 工藤洋三徳山工業高等専門学校教授（工学博士）

7	28	監査員会議
9	8	第2回監査会議
11	28	臨時総会
12	12	周南協組事務所新築移転

1998 (平成10年)

2	2	臨時総会
2	23	懇談会 (国・県・建設業協会)
3	17	第3回監査会議 (監査合格証の交付)
3	31	鹿野生コン(有) 脱退
4	1	岩国協組を周防協組に名称及び地区変更
4	1	新規加入 中国開発(株)、(有)錦生コン、三計資材(株)
5		協組別生コンクリート積算価格表の適用
5	7	品質管理プログラムシステムの開発検討 (WINDOWS版)
5	27	第23回通常総会
5	29	平成9年度監査合格工場一覧表作成 関係機関・団体に配布
7	30	ファノス自社集約化 (徳山→下松) 持分譲渡による加入 (株)ファノス大島・久賀、橘生コン(有)を統合し、(株)ファルコン設立
8	11	品質管理監査委員会
8	27	臨時総会
10	1	下関協組を新下関協組に名称変更 新規加入 日産コンクリート(株)、福嶋産業(株)
11	6	第11回生コン大会
12	1	共同試験場設備・冷暖房設備工事借入金一括繰上償還 (山口銀行)

1999 (平成11年)

3	1	第5回監査会議
3	31	近促法に基づく構造改善事業は、第3次計画をもって終了
4	1	持分譲渡による加入 徳地レミコン(株)、徳地生コンクリート(株)が廃業し、徳地共同生コン(株)設立
4	5	監査合格証交付式
5	27	第24回通常総会
5	31	監査員会議
7	9	全生連中国地区本部事務局を広島県工組へ移管
8	20	臨時総会
8	31	組織規程一部改訂 (委員会構成)
10	12	中小企業連携組織化事業 (中央会) 現地調査 大分県・福岡県
11	12	第12回生コン大会
12	6	監査合格工場の生コン使用 (陳情)
12	22	第6回監査会議 (合否判定)

2000 (平成12年)

1	20	WINDOWS版対応品質管理システム導入説明会 導入工場数 44工場
2	15	懇談会 (国・県・建設業協会)
4	6	監査合格証交付式
5	29	第25回通常総会

6	14	第7回監査会議
7~8		品質管理監査合格工場の生コン使用（関係機関へ陳情）
7	24	品質管理監査費の算定基準作成
7	25	監査合格工場に対する無通告査察スタート（6工場）
8	22	ISO9000S 基礎講習会
10	2	中小企業連携組織化交流促進事業 現地調査 福岡県・熊本県
10	13	二井知事表敬訪問 理事長ほか
11	8	協組別標準価格表の作成
11	17	山口県選奨受章（産業功労） 黒瀬治郎氏 （工組理事・北西部協組理事長） 第13回生コン大会
12	15	持分譲度による加入 大祐工業(株) → 下関工業(株)
12	18	第8回監査会議

2001（平成13年）

1	23	組合情報ネットワーク化説明会
2	1	懇談会（国・県・建設業協会）
4	1	認定共同試験場の名称変更 技術センター
4	1	㊟マーク添付活用開始
4	2	監査合格証交付式
5	28	第26回通常総会
6	1	監査員研修会
6	7	第9回監査会議 JIS改正（13.6）に伴う品質管理プログラムの改修（WINDOWS版）
7	17	商標「シンボルマーク」書換登録
8	3~	骨材の自主的管理の励行（全ての使用骨材のアルカリ骨材反応検査の実施） （関係機関への陳情）
9	13	監査員相互交流事業スタート （広島県・岡山県・山口県）
10	1	コーウン産業(株)自社集約化（下松→南陽工場）
10	15	持分譲渡による加入 下関菱光コンクリート工業(株) → 下関協同生コン(株)
10	31	技術責任者会議（周防・大島協組）
10	31	技術センター定期検査
11	9	第14回生コン大会
12	20	第10回監査会議

2002（平成14年）

1	24	中小企業集中支援事業
2	1	懇談会（国・県・建設業協会）
2	1	ホームページ開設 愛称「安心マーク生コンネット」
2	15	山口県土木工事共通仕様書（平成14年版）に「監査に合格した工場から選定するのが望ましい」との書き込みが全国に先駆け達成
3	26	監査合格証交付式

4	1	持分譲渡による加入 西部徳山生コンクリート(株) 岩国工場 → 山通徳山生コン(株) 新規加入 ニッタイコンクリート工業(株)
4	1	周南共同生コン(株)設立〔下松アサノ・下松宇部の共同生産工場〕
5	15	山口県土木建築部長表敬訪問 監査会議 濱田純夫 議長
5	27	第27回通常総会
6	4	監査員研修会
6	10	第11回監査会議
6	11	新規受監工場に対する説明会(7社)
7	9	骨材アルカリシリカ反応性試験自主検査結果報告
7	30~	監査合格工場の生コン使用 (国等の関係機関へ陳情)
7	30	新任監査員実務研修会(11名) 山口小野田レミコン(株)小野田工場にて
9	25	持分の譲渡 (株)青池組 → 下関協同生コン(株)
9	25	臨時総会
11	8	第15回生コン記念大会
12	9	第1回オーナー向け意識啓発セミナー
12	20	第12回監査会議 骨材のアルカリシリカ反応性試験自主検査結果(最終)報告

2003(平成15年)

2	4	懇談会(国・県・建設業協会)
2	21	持分の譲渡 太平洋コプロス(株)・山口レミコン(株) → 山口小野田レミコン(株)
2	24	生コン納入代金の支払条件の改善要請活動開始(工組・協組)
3	19	監査合格証交付式
3	19	臨時総会
3	31	萩開発(株)自社集約化(宇田→川上)
4	1	協同萩森生コン(株)設立〔下関協同・萩森下関の共同生産工場〕
4	2	生コン4社で設立した(有)山口長門物産により山口共同生コン(株)を買収(北西部協組)
5	27	第28回通常総会
6	20	第13回監査会議
6	23	監査説明会・監査員研修会
6	25	JISA5308改正に伴う品質管理プログラムの改修(CD-ROM配布)
7	1	事務局組織の再編整備に着手
8	21	監査員会議
9	25	細骨材(海砂)使用実績調査 (対象 全工場)
10	22	コンクリート舗装普及推進説明会
11	1	菱光徳山(株)設立〔菱光防府・西部徳山防府の共同生産工場〕
11	7	第16回生コン大会
12	9	第2回オーナー向け意識啓発セミナー
12	19	第14回監査会議 細骨材(海砂)使用実績調査結果報告

2004 (平成16年)		
2	6	懇談会 (国・県・建設業協会)
3	8	持分譲渡による加入 岩国小野田 → (株)竜陽
3	19	監査合格証交付式
4	1	持分譲渡による加入 (株)村谷組 → (有)萩トキワ
4	1	消費税法改正により課税事業所となる
5	7	コンクリート主任技士資格取得のための講習会
5	17	インターンシップ生受入 (8月5日) 徳山工専専攻科生
5	28	第29回通常総会
6	7	二井知事表敬訪問 (理事長交代あいさつほか)
6	23	第15回監査会議
7	1	持分の譲渡 阿東共和生コン(株) → 益田興産(株)
7	27	新JISマーク制度説明会
10	1	旅費規程の一部改正 (宿泊料)
10	21	中小企業庁長官表彰 (優良組合) 受賞
11	1	持分譲渡による加入 玖北共同生コン(株) → 岩国共同生コン(株)
11	5	第17回生コン大会
12	8	第3回オーナー向け意識啓発セミナー 講師 全生連技術委員長 吉兼 亨 氏
12	21	第16回監査会議

2005 (平成17年)		
1	18	平成16年度監査結果報告会
1	27	65歳継続雇用制度導入啓発セミナー (中央会主催)
2	15	懇談会 (国・県・建設業協会)
3	15	監査合格証交付式
3	31	品質管理プログラム改修 (単位水量推定計画書等付加)
4	1	持分譲渡による加入 (株)ファルコン・(有)東生コン → (株)周防大島生コンを設立
4	1	工組標準配合表改定
5	27	第30回通常総会 工組創立30周年記念式典
6	1	インターンシップ生受入 (徳山高専) ~ 8/5
6	10	主任技士支援講習会 (全14回) ~ 11/25
6	17	第17回監査会議
7	4	コンクリート技術研修会 (山口県教育会館)
7	27	臨時総会
10	22	主任技士合宿講習 (小論文)
10	17	臨時総会
10	19	山口県生コンクリート協同組合連合会設立
10	28	新JISマーク制度説明会 建材試験センター
11	4	新JISマーク制度説明会 日本建築総合試験所

11	11	創立記念生コン大会（長門市）
12	22	第18回監査会議 優良工場表彰制度創設

2006（平成18年）

4	1	新規加入 岩国西生コン(株)
4	26	第1回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
5	1	新規加入 徳林工業(株)
5	22	第19回監査会議
5	26	第1回合同通常総会
6	12	合同臨時総会
7	6	品質管理監査に関する講習会
10	13	生コン技術責任者研修会
11	11	第19回生コン大会（周南市）
11	15	ISO/IEC17025登録認証申請（技術センター）
12	19	第2回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
12	20	第20回監査会議

2007（平成19年）

3	20	生コン技術者研修会
4	13	コンクリートひび割れ抑制対策に関する説明会
5	14	第2回合同通常総会
6	7	第21回監査会議
6	27	ISO/IEC17025認定登録（技術センター） コンクリートの圧縮強度試験
7	25	合同臨時総会
10	9	第3回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
10	11	生コン工場技術員研修会
11	11	第20回生コン大会（宇部市）
12	21	第22回監査会議

2008（平成20年）

2	5	ISO/IEC17025認定登録（技術センター） コンクリートの曲げ強度試験
5	27	第3回合同通常総会
6	18	第23回監査会議
7	24	持分譲渡による加入 福島産業(株) → 福島コンクリート(株)を設立
10	1	新規加入 関門コンクリート工業(株)
11	4	第4回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
11	11	第21回生コン大会（長門市）
12	24	第24回監査会議

2009（平成21年）

2	5	技術セミナー（最近のコンクリート舗装技術の話題）（社）セメント協会共同開催
3	16	生コン技術責任者研修会
5	26	第4回合同通常総会

6	1	新規加入 コニコン(株) 新規加入 (有)平生コンクリート工業
6	17	第25回監査会議
7	21	合同臨時総会
10	29	中小企業団体組織法施行50周年記念式典優良組合（経済産業大臣表彰受賞）
11	13	第22回生コン大会（周南市）
11	26	第5回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
12	22	第26回監査会議

2010（平成22年）		
2	25	山口国体・山口大会実行委員会 感謝状
5	11	持分譲渡による加入 関門コンクリート工業(株) → 関門生コン(株)を設立
5	25	第5回合同通常総会
6	23	第27回監査会議
7	30	第6回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
8	5	品質管理QMR & トップ技術員対象研修会
11	12	第23回生コン大会（宇部市）
12	22	第28回監査会議

2011（平成23年）		
3	16	合同臨時総会
5	23	第6回合同通常総会
6	22	第29回監査会議
8	23	合同臨時総会
11	11	第24回生コン大会（長門市）
12	22	第30回監査会議
12	25	合同臨時総会

2012（平成24年）		
3	28	品質管理監査結果報告並びに意見交換会
5	8	合同臨時総会
5	23	第7回合同通常総会
6	28	第31回監査会議
7	2	合同臨時総会
8	22	第7回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
11	9	第25回生コン大会（周南市）
12	6	合同臨時総会
12	19	第32回監査会議

2013（平成25年）		
4	1	持分譲渡による加入 福嶋コンクリート(株) → 合田産業(株)
5	28	第8回合同通常総会
7	3	第33回監査会議
7	23	合同臨時総会
8	1	持分譲渡による加入 西長門コンクリート(協) → 西長門コンクリート(株)を設立
10	21	山口県コンクリート舗装等PRフェア

11	8	第26回生コン大会（山口市）
12	11	全生連更新審査（技術センター）
12	24	第34回監査会議

2014（平成26年）

5	8	合同臨時総会
5	26	第9回合同通常総会
6	12	第8回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
6	18	第35回監査会議
7	14	合同臨時総会
11	4	山口県コンクリート舗装等PRフェア
11	14	第27回生コン大会（周南市）
12	19	第36回監査会議

2015（平成27年）

3	12	ISO/IEC17025 JNNA登録更新審査
5	28	第10回合同通常総会
6	15	第37回監査会議
7	10	合同臨時総会
7	26	コンクリート舗装発注者向け講習会
9	14	第9回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
10	30	山口県コンクリート舗装等PRフェア
11	13	第28回生コン大会（宇部市）
12	18	第38回監査会議

2016（平成28年）

5	27	第11回合同通常総会
6	15	第39回監査会議
8	22	第10回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
9	1	コンクリート舗装発注者向け講習会
10	30	山口県コンクリート舗装等PRフェア
11	11	第29回生コン大会（周南市）
12	21	第40回監査会議

2017（平成29年）

2	4	協組合同技術会議
5	29	第12回合同通常総会
6	13	第41回監査会議
9	4	第11回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
10	12	コンクリート舗装発注者向け講習会
10	17	安全衛生推進担当者を対象とした研修会
11	10	第30回生コン大会（山口市）
11	16	品質管理監査監査員報告会
12	19	第42回監査会議

2018（平成30年）

3	17	協組合同技術会議
5	29	第13回合同通常総会
6	13	第43回監査会議
9	4	第12回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）

10	11	コンクリート舗装発注者向け講習会
11	9	第31回生コン大会（宇部市）
12	18	第44回監査会議

2019（平成31年 令和元年）

1	4	SDSHP掲載
4	3	JNLA登録審査（工組技術センター）
5	30	第14回合同通常総会
6	12	第45回監査会議
9	17	第13回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
11	8	第32回生コン大会（周南市）
12	13	コンクリート舗装発注者向け講習会
12	17	第46回監査会議

2020（令和2年）

3	23	国・県・建設業協会との懇談会（コロナ感染予防により中止）
4	1	事業継続計画（BCP）策定
5	28	第15回合同通常総会
5	28	第47回監査会議（書面開催）
11	13	生コンゴルフ大会（宇部市）
11	20	第48回監査会議（書面開催）

2021（令和3年）

4	1	セメント受入試験受託終了、セメント受入試験補填規程制定
5	27	第16回合同通常総会
5	28	第49回監査会議（書面開催）
10	18	第15回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策） web開催
10	22	中国地区コンクリート舗装研修会（山口市）
11	2	全生連認定共同試験場更新審査（技術センター）
11	13	生コン交流会（宇部市）
12	8	第50回監査会議

2022（令和4年）

1	20	コンクリート舗装意見交換会（Web開催）
5	26	第17回合同通常総会
6	17	第51回監査会議
10	17	第16回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
10	11	第35回生コン大会（周南市）
10	5	持分譲渡による加入 田布施生コン工業(株) → (株)エフテックを設立
12	15	第52回監査会議

2023（令和5年）

2	8	コンクリート舗装意見交換会
2	13	臨時監査会議（書面開催）
3	1	持分の譲渡 西長門コンクリート → (株)ファノス
4	24	JNLA登録更新審査（技術センター）
5	29	第18回合同通常総会
6	14	第53回監査会議

10	16	第17回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
11	10	第36回生コン大会（山口市）
12	18	第54回監査会議

2024（令和6年）

3	5	化学物質管理者専門的講習（2日間）
4	1	セメント受入試験補填規程廃止
5	29	第19回合同通常総会
6	13	第55回監査会議
10	6	建設フェス（道の駅きらあじす横広場）
10	21	第18回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
11	8	第37回生コン大会（宇部市）
12	17	第56回監査会議

2025（令和7年）

3	25	工組HPリニューアル
5	29	第20回合同通常総会 創立50周年記念式典
6	10	第57回監査会議
7	14	国・県・建設業協会との懇談会
10	20	コンクリート主任技士資格取得支援講座 （2日目 11月7日）
10	24	中国地区コンクリート舗装研修会（山口市）
10	28	第19回技術講習会（コンクリートのひび割れ抑制対策）
11	7	認定試験場更新審査（全生工組）
11	14	創立記念第38回生コン大会（下関市）
12	11	第58回監査会議

生コン産業を支える 山口県の生コン技術

〈特別寄稿〉山口県生コンクリート工業組合技術委員長
中沢 聡

国内におけるレディーミクストコンクリート工場（以下、生コン工場）は、戦後間もない1949年に東京都墨田区に誕生したのは、業界内で広く知られている。山口県においては、1963年に宇部生コンクリート（現在の萩森興産）が宇部市で生コン工場を操業開始したのが最も古く、以降は関門橋、中国自動車道、山陽新幹線など大型プロジェクトに合わせて各地に生コン工場が設立され、県内のインフラ整備に大きく貢献してきた。これらを支える根幹となるのが生コンの品質管理であり、技術力の向上である。山口県生コンクリート工業組合（以下、山口工組）では、前身の山口県生コンクリート協会の設立以降、業界団体として組合員の品質管理、技術力の向上に取り組んできた。次に工業組合の主な取組みを紹介する。

■山口工組の取組み

品質管理、技術に関する山口工組の主な活動事業を表に示す。活動内容は概ねは他県と大きな違いはないであろうが、このうち資格取得、特にコンクリートに対して高度な総合技術が要求される「コンクリート主任技士」の資格取得支援について2004年度より注力して取り組んできた。当時、工組会員会社の主任技士が少ないことに危機感を覚え、地元の山口大学、徳山高専の学識経験者の協力を仰ぎながら合宿形式を含む集合研修会を企画、特に生コン技術者が不得手な小論文対策に重点を置いて受講生をサポートしてきた。その結果、取組み開始時に38名であった会員の主任技士取得者数は、10年後の2014年には90名（2.1名/工場）にまで増加するなど数多くの合格者を輩出してきた。これは合格者本人の研鑽もさることながら、講師役を担った工組技術委員会メンバーの熱意、技術者の資格取得を会社経営の基盤に位置付けている経営者の理解の賜物である。一定の成果が得られ受講希望者が減少したこともあり、2017年度からは小論文対策に絞ったマンツーマン形式の通信添削に変更したが、会員の資格取得者数の推移をみながら支援活動の見直しを検討することとしている。

また、2011年度より8年間にわたって全支部合同の技術会議を開催した。それぞれの地区（工場）で実施した実験結果や業務上の課題解決への取組みについての報告、討議を行い、参加者主体型の研修として若手技術者のスキルアップに繋げることができた。

全生連が主催する生コン技術大会への参加も積極的だ。生コン技術大会への県内からの参加は第4回大会からであるが、第12回大会までの発表件数は僅か5件と少ない状況であった。しかしながら、2005年に開催された第13回大会以降は工組支部（各協組技術委員会）による参加を中心に計25件の発表を行い、先月開催された第23回大会にも2件の発表を行っている。のちに触れるが、県内の生コン技術者は出荷生コンの性状改善や品質管理手法など「品質」に対しての意識が高いためか、発表テーマもこれらに関する内容が多いのが特徴である。

■よろず研究会～山口システム

生コン技術者のみならず、発注者、施工者を含めた県内のコンクリートに携わる関係者の品質意識の高揚に影響を与えたものとして、「コンクリートよろず研究会（以下、よろず研究会）」の存在はかかせない。よろず研究会は、徳山高専 田村隆弘教授（現・都城高専校長）が2002年に立ち上げた私的勉強会で、当初

はコンクリートのひび割れ課題について、学識者、施工者、材料供給者などの技術者が月1回の頻度でブ
レーンストーミングによる討議をしていた。山口工組会員の有志もこの研究会に参加し、大いに刺激を受け
たときいている。

よろず研究会の成果として、2004年10月に「コンクリートのひび割れ予防対策講習会」を開催している
が、折しもひび割れ問題に苦慮していた県土木建築部の技術者がこの講習会を契機に研究会に参画、「産
官学」で問題解決にあたる転機となった。県は、翌年から2年間にわたり、全長250mものボックスカル
バートの試験施工を行い、そこで得られた知見をもとに2007年に「コンクリートのひび割れ抑制システム
(通称・山口システム)」（現在の呼称は、コンクリート構造物品質確保ガイド）を構築し、以降も新たな知見
やデータ蓄積をもとに定期的な改訂を行っている。

このシステムが現在も上手く運用されている一因には、田村教授をはじめとするよろず研究会参画者が
協働していることや、県が検証のための施工現場を工事に関係しない施工者、材料供給者にも公開し、発
注者を含めて「良質なコンクリート構造物」を構築するための基本事項を強く再認識したほかにならない。

いずれにしても、「良質なコンクリート構造物を造ろう」というよろず研究会や県の実行姿勢が県内の
コンクリート技術者の向上心を刺激し、相互にレベルアップを図れたのは大いに誇れることであろう。

工期等の制約はあるであろうが、良質なコンクリート構造物は、必ずしも最新技術や高価な使用材料に
頼らなくとも構築できることは山口システムで実証されている。この一助となれるよう、山口工組は会員生
コンの技術力、品質マインドの維持向上への取組みを次の50年に向けて継続していく。

主な活動事業

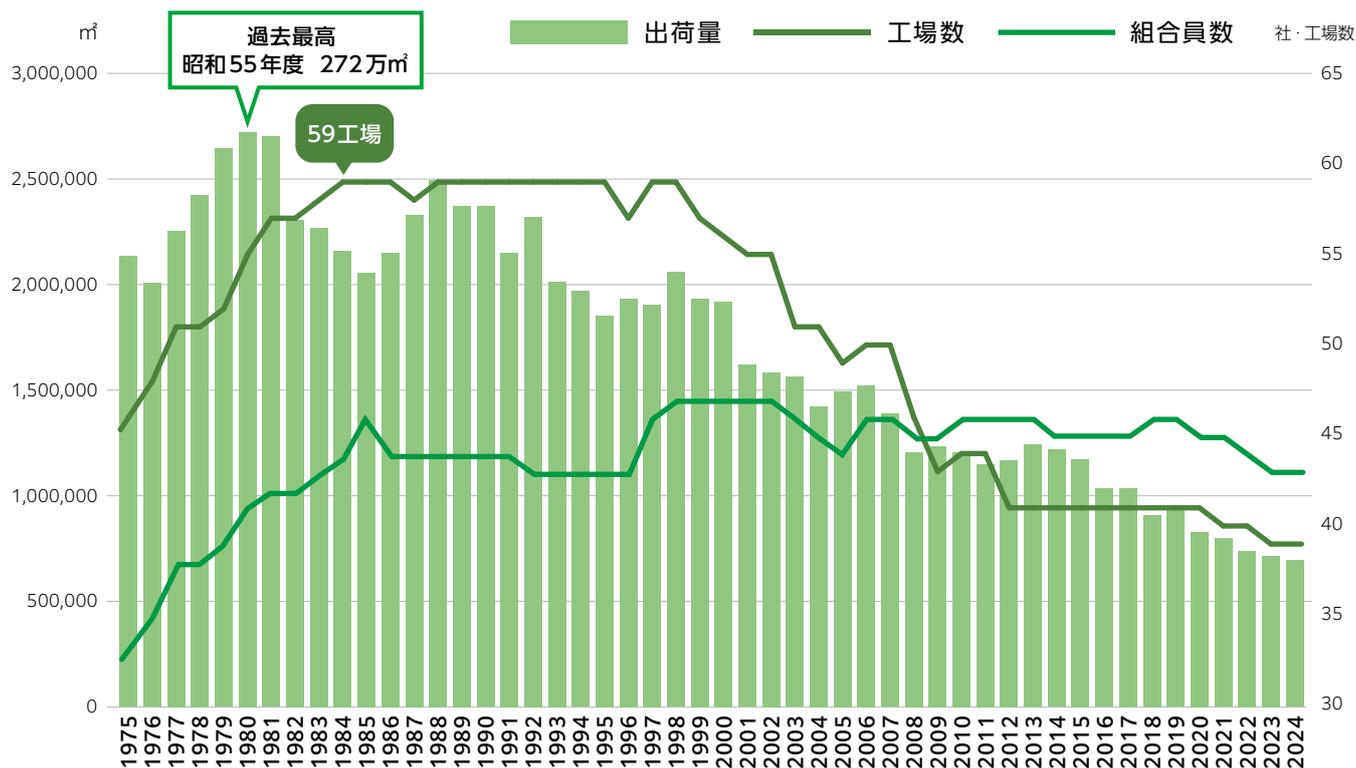
区 分		内 容
品質管理		・ 全国統一品質管理監査の活用
技術	教育事業	・ 主任技士通信講座(小論文対策)
	研修会	・ 県、大学等主催研修会への講師派遣 ・ 法令に従った資格取得研修会の企画、運営 等
	情報提供	・ JIS関連、法令関連、新技術に関する情報提供 等
その他		・ 県等主催イベントへの出展 ・ 需要開拓のための舗装コンPR活動 等

転載元：セメント新聞 令和7年5月26日付

組合員一覧

組 合 員	〒	住 所	電話番号	代 表 者
岩国コンクリート株式会社	741-0092	岩国市多田3丁目101番10号	0827-43-4111	村 中 三 郎
岩国共同生コン株式会社	741-0092	岩国市多田2丁目101番8号	0827-41-2121	田 中 孝 彦
株式会社エフテック	742-1502	熊毛郡田布施町大字波野1622-1	0820-52-3333	藤 永 祐 司
大野生コン有限会社	742-2514	大島郡周防大島町神浦字東浜63	0820-75-1133	大 野 富 美 子
鹿野宇部コンクリート工業株式会社	745-0304	周南市大字鹿野下字1丁目2697	0834-68-2638	松 尾 和 弘
関門生コン株式会社	752-0927	下関市長府扇町8番38号	083-249-0942	河 野 朋 子
下松アサノコンクリート株式会社	744-0011	下松市大字西豊井字三谷屋1387-5	0833-41-3763	中 沢 聡
コーウン産業株式会社	746-0027	周南市小川屋町1番5号	0834-63-4100	原 田 茂 雄
合田産業株式会社	752-0927	下関市長府扇町8番38号	083-250-7390	合 田 尚 義
株式会社 コプロス	752-0962	下関市長府安養寺1丁目15番13号	083-246-0545	宮 崎 薫
サンヨー宇部株式会社	753-0871	山口市朝田1091-1	083-922-3511	大 西 利 勝
芝田建設株式会社	759-6301	下関市豊浦町大字川棚6386-2	083-772-3000	芝 田 大 作
シマダ 株式会社	753-0011	山口市宮野下字定井手1158	083-922-1228	嶋 田 広 樹
下関協同生コン株式会社	752-0997	下関市前田陣屋416	083-231-5338	林 敏 一
下関工業株式会社	750-0441	下関市豊田町中村字庄町386	0837-66-0206	中 谷 祐 二
株式会社 周防大島生コン	742-2105	大島郡周防大島町大字小松開作148-17	0820-74-3130	迫 田 輝 男
西部コンクリート工業株式会社	752-0927	下関市長府扇町8番33号	083-248-0531	川 原 章 吾
西部徳山生コンクリート株式会社	745-0053	周南市御影町1番1号	0834-34-2372	山 手 孝 昭
株式会社 関 谷	753-0212	山口市下小鯖10365-2	083-927-2526	松 本 隆 博
中国開発コンクリート株式会社	741-0092	岩国市多田116	0827-43-0678	村 岡 茂 孝
中国明信産業株式会社	739-0611	広島県大竹市新町1丁目7番1号	0827-52-8686	池 田 直 行
中国菱光株式会社	747-0054	防府市開出西町23番10号	0835-32-0145	三 浦 征 樹
徳地共同生コン株式会社	747-0814	防府市三田尻1丁目5-25	0835-23-0971	権 代 隆 志
徳林工業株式会社	747-0231	山口市徳地堀1680番地1	0835-52-0223	林 茂 生
長門小野田レミコン株式会社	759-4106	長門市仙崎348	0837-22-0733	中 原 文 典
長門コンクリート工業株式会社	759-4102	長門市西深川1374番地-1	0837-22-2143	黒 瀬 正
有限会社 錦生コン	741-0092	岩国市多田1丁目102-4	0827-43-0665	西 山 隆 宏
日産コンクリート工業株式会社	751-0826	下関市後田町5-1-6	083-222-1131	田 淵 清 隆
ニッタイコンクリート工業株式会社	759-3622	阿武郡阿武町大字奈古字西2757番1	08388-2-2311	堀 弘 和
萩アサノコンクリート株式会社	758-0141	萩市川上1561	0838-54-2339	中 沢 聡
萩宇部生コンクリート株式会社	758-0025	萩市大字土原150番地1	0838-25-1111	井 町 嘉 助
萩森興産株式会社	755-0001	宇部市大字沖宇部525-125	0836-31-1678	松 尾 和 弘
有限会社平生コンクリート工業	742-0023	柳井市南浜1丁目3番20号	0820-25-3515	井 森 幹 雄
株式会社 ファノス	743-0063	光市島田2丁目23-10	0833-71-1010	河 野 正 太 郎
益田興産株式会社	759-1513	山口市阿東徳佐下1542-1	083-956-0141	大 畑 悦 治
松屋産業株式会社	741-0092	岩国市多田3丁目112番10号	0827-22-2211	松 塚 展 門
三計資材株式会社	740-1424	岩国市由宇町港2丁目20番1号	0827-63-0188	三 計 正 之
株式会社三隅コンクリート	759-3803	長門市三隅下2378-30	0837-43-1403	安 藤 光 吉
みどり生コン株式会社	742-0033	柳井市新庄21-1	0820-22-5100	宮 本 茂 樹
株式会社宮本建材	747-0014	防府市大字江泊315-1	0835-38-0136	宮 本 俊 亮
柳井宇部コンクリート工業株式会社	742-0021	柳井市柳井1717-1	0820-22-7226	河 野 和 明
山口小野田レミコン株式会社	756-0815	山陽小野田市高栄3丁目7番1号	0836-83-3342	鶴 森 栄 一
株式会社 竜陽	740-0022	岩国市山手町1丁目2番14号	0827-22-3320	田 中 孝 彦

組合員出荷実績・工場数、組合員数の推移



年度	出荷量	工場数	組合員数
1975	2,134,134	46	33
1976	2,006,777	48	35
1977	2,254,264	51	38
1978	2,425,919	51	38
1979	2,644,493	52	39
1980	2,721,042	55	41
1981	2,700,702	57	42
1982	2,308,607	57	42
1983	2,267,564	58	43
1984	2,161,398	59	44
1985	2,057,557	59	46
1986	2,152,037	59	44
1987	2,330,949	58	44
1988	2,493,736	59	44
1989	2,373,567	59	44
1990	2,370,666	59	44
1991	2,152,452	59	44
1992	2,321,902	59	43
1993	2,015,633	59	43
1994	1,968,877	59	43
1995	1,852,857	59	43
1996	1,934,918	57	43
1997	1,904,129	59	46
1998	2,058,870	59	47
1999	1,932,196	57	47

年度	出荷量	工場数	組合員数
2000	1,918,121	56	47
2001	1,619,235	55	47
2002	1,582,761	55	47
2003	1,562,871	51	46
2004	1,424,982	51	45
2005	1,493,819	49	44
2006	1,524,522	50	46
2007	1,387,984	50	46
2008	1,206,978	46	45
2009	1,236,024	43	45
2010	1,206,660	44	46
2011	1,148,878	44	46
2012	1,168,750	41	46
2013	1,242,349	41	46
2014	1,218,042	41	45
2015	1,173,537	41	45
2016	1,034,021	41	45
2017	1,035,336	41	45
2018	908,341	41	46
2019	929,812	41	46
2020	828,879	41	45
2021	797,457	40	45
2022	738,831	40	44
2023	715,721	39	43
2024	694,003	39	43

50年の歩み

編集・発行 山口県生コンクリート工業組合
デザイン 株式会社マルニ

〒754-0014 山口県山口市小郡高砂町3番6号
TEL 083-972-6515 FAX 083-972-6516
URL <https://ymgc-rmc.jp/>